

160 いと高きところに栄光が

いと高きところに栄光が

神にあるように

地の上に平和が

みこころにかなう人々にあるように

いと高きところに栄光が

神にあるように

地の上に平和が

みこころにかなう人々にあるように

4 インマヌエル

インマヌエル インマヌエル

主の名は インマヌエル

ともにおられる わが主イエス

インマヌエル

新聖歌67番 「わが心は」

- 1 わが心は 天(あま)つ神を尊(とうと)み
わがたましい 救い主を ほめまつりて喜ぶ
- 2 数に足らぬ わが身なれど 見捨てず
よろずよまで さきわいつつ 恵みたもう嬉しさ
- 3 御名は聖く 大御業(おおみわざ)は かしこし
代々(よよ)に絶えぬ みいつくしみ 仰ぐ者ぞ受くべき
- 4 ひくき者を 高めたもう み恵み
おごる者を 取りひしぎて 散らしたもう御力(みちから)
- 5 アブラハムの すえを永遠(とわ)に かえりみ
イスラエルを 忘れまさで 救いたもう とうとさ アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌49番 「しみも咎(とが)も」(聖餐式)

- 1 しみも咎(とが)も 汚れもなき
小羊わが主は ほふられしや
- 2 こは わがため 十字(じゅじ)の上に
釘(くぎ)もて裂かれし みからだなり
- 3 こは わがため のろい受けて
流させたまひし 君(きみ)が血なり
- 4 こは わがため 与えたもう
いのちの糧(かて)なり 飲みものなり
- 5 なつかしくも 見失(う)せし主は
まもなく再び 来たりたまわん
- 6 その時まで 十字架を負(お)わん
救いの恵みを 喜びつつ アーメン

新聖歌78番 「荒野(あらの)の果てに」

1 荒野の果てに 夕日は落ちて
妙(たえ)なるしらべ 天(あめ)よりひびく

* グローリヤ インエクセルシステオ × 2

2 羊をまもる 野辺(のべ)の牧人(まきびと)
天(あめ)なる歌を よろこび聞きぬ * (くりかえし)

3 み歌を聞きて 羊飼いらは
まぶねにふせる み子をおがみぬ * (くりかえし)

4 今日しも み子は 生まれたまいぬ
よろずの民(たみ)よ いさみて歌え * (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン